

記念商品 笑EMIカレーが発売！
観光列車「笑EMI」運行再開記念商品

秋田内陸縦貫鉄道では、今年2月から運行を開始した新・観光列車「笑EMI」のオリジナルシリーズ商品として、新たに「笑EMIカレー」の販売を開始しました。

北秋田市の森吉牧場をはじめとする国内の牧場で丁寧に育てられた「やまと豚」をメインに、大き目の具材がゴロゴロと入っており、フルーティな甘さと後引くスパイシーさがベストマッチのカレーです。

「笑EMIカレー」は6月20日から販売が開始されており、秋田内陸線オンラインショップや阿仁合駅観光案内窓口や鷹巣駅、角館駅などで買うことができます。



地域防災 有事の際には互いに協力
藤島組へ消防団協力事業所表示証を交付

北秋田市消防本部の長岐消防長と市消防団の戸島団長が、6月30日に株式会社藤島組（北林誠代表）を訪れ、消防団協力事業所表示証を交付しました。

消防団協力事業所表示証は、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制が一層充実されることを目的とした制度で、総務省消防庁が推進しています。

戸島消防団長が北林代表に表示証を手渡し「災害の際にはご協力をお願いしたい」などとあいさつしました。



植樹活動 自然環境への関心を促す
「グリーンメイク」クヌギ植樹活動

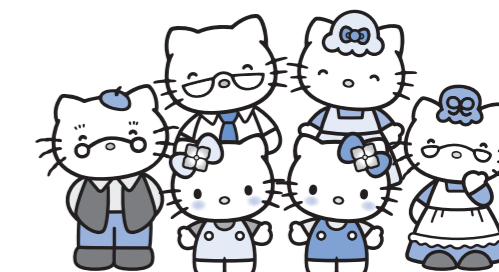
緑化推進ボランティア団体「グリーンメイク（清流を守る会）」（本城谷多加志代表）によるクヌギ植樹活動が、6月25日に米内沢長野野地区で行われ、地域の環境整備の推進を図りました。

この事業は、毎年同団体が秋田北鷹高校の生徒に健全な森づくりと自然環境に興味を持ってもらい、地域の活性化につなげたいと実施されているものです。

この日は、秋田北鷹高校緑地環境科の生徒のほか協賛している北都銀行川支店の行員、ラブリバーネット北秋田の会員など約40人が参加し、クヌギの苗木250本を植樹しました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



協定締結 災害時に備え連携体制を
道の駅「たかのす」災害時相互応援協定締結式

道の駅「たかのす」を防災拠点とする災害時相互応援協定締結式が7月15日に同所で行われました。

今回の協定は、災害発生時に道の駅「たかのす」設置者並びに管理運営者、道路管理者等が連携、応援、協力して適切な災害対応を行うことにより、地域住民や道路利用者の安全を確保することを目的として締結されたものです。

協定書への署名後、津谷市長は「今回の協定締結により、災害時に道の駅が防災拠点として地域住民の安全・安心が確保されるものと心強く感じている。今後も安全・安心のために力を合わせて頑張っていきたい」などとあいさつしました。



贈呈式 学校の情報発信に活用を
松岡組から電子看板を阿仁中学校へ寄贈

あさぎんCSR私募債の贈呈式が、7月13日に阿仁中学校（斎藤拓洋校長）で行われ、松岡組（松岡久人社長）から阿仁中学校へ40型液晶モニター（電子看板）が寄贈されました。

この日同校を訪れた松岡組の松岡大祐工事部長は「社会貢献として母校の阿仁中学校に贈らせてもらうことになった。先生、生徒、地域の皆さんのために使っていただければと思う」などと述べ、斎藤校長に目録を手渡しました。

贈られたデジタルサイネージは、学校行事や授業風景の写真などを来校者が見やすいように玄関に設置されます。



交付式 監査委員に山形さんが再任
北秋田市監査委員選任書交付式

北秋田市監査委員選任書交付式が、6月29日に市役所で行われ、津谷市長から山形聡伸さん（64歳・松葉町）へ選任書が交付されました。

監査委員に再任された山形さんは、6月23日に開催された北秋田市議会6月定例会で選任を同意されています。

選任書の交付にあたり津谷市長は「これまで公平、公正な立場で北秋田市の財政に対して監査をしていただき心から感謝を申し上げます。将来にわたって市の財政運営をやっていけるように、より良いまちづくりのためにも山形監査委員の力をお借りしたい」などと述べました。



地域行事 街中の活性化を目指す
Sunny SATURDAY'Sが鷹巣駅前で開催

鷹巣駅前「Sunny SATURDAY'S - 爽やかな陽気な土曜日たち -」と題し、6月27日に鷹巣駅前マーケットが開催されました。

このマーケットは、主催のシード株式会社の中嶋俊輔専務を中心に、鷹巣駅前などの有志やまちづくりに関心を持つ仲間たちに呼びかけを行い、新型コロナウイルスで大きな影響を受けている街の活性化を図ろうとの想いで実施されました。

当日は、あいにくの雨にも関わらず、マスク着用でたくさんの方が訪れ、なかには1時間ほどで予定していた商品が完売するなどの盛況ぶりでした。

